

# 伊自良北小のひみつ発見！

# ハッピーズ新聞

発行者  
伊自良北小  
4年生



十六拍子は、四百年以上前にできたそうです。「なぜ始まったのか」その昔、伊自良の地域に日照りが続くと、十ある地区の村人が、釜ヶ谷の山の頂上に集まって、雨乞いをかけ、雨を呼んでいました。その時に、かねと太鼓を雷のように打ち鳴らしていたそうです。伊自良地区では、八月の伊自良祭りで十六拍子が演奏されます。(恋愛)

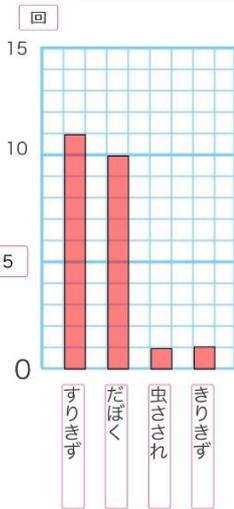
## 十六拍子について

## 新しい校長先生にインタビュー

四月に新しい校長先生として中村裕美子校長がいらつしやいました。そこで、私たちは六月三十日にインタビューをしました。まず、校長先生に北小に来てどう思ったかうかがいました。校長先生は、「少ない人数でもみんな元気で、落ち着いてるからすごい。」と話してくれました。次に、私たち四年生についてどう思うかをお聞きしました。校長先生は、「三人で、いっしょけんめい勉強していて



4・5月のケガについて



ろう下を走って、転んでけがをする人がいるので、ろう下は走らないように気をつけましょう。(岳弥)

チームワークが良いと思う。」と言ってくださいました。そして、インタビューが終わって最後には「いつでも来てね。」と言ってくださいました。(瑠那)

## 伊自良北小で人気の本紹介

ドラえもんやまんがと、パンどろぼうが人気です。一度読んでみてください。(岳弥)

## 銀杏活動について

私たちは、伊自良北小にあるイチヨウの木について調べました。イチヨウの木は、この学校の校舎が木造から建て直された時からあったことがわかっていきます。取材をしたところ、少なくとも四十年以上前からあったことがわかりました。伊自良北小の卒業生にインタビューをしたところ、イチヨウの木になる銀杏を販売するようになったのは、三十年くらい前からだそうです。今では、全校みんなです。今年、高学年が学校近くのお店や地域の方に売りに行っています。今年もたくさん銀杏がとれるといいです。(恋愛・瑠那)